

然別演習場にて第2次火砲射撃

連隊は、8月31日(木)から9月4日(月)までの間、然別演習場において「令和5年度第2次連隊火砲射撃訓練」を実施した。

本訓練において81mm迫撃砲L-16の火砲射撃訓練を実施して各級指揮官の射撃指揮及び射撃能力の向上を図るとともに、正確迅速な射撃を射撃にあたり多くの改善点を案出することができ、更なる飛躍のための足がかりとなる収穫の多い訓練となった。



弾薬準備



副砲手による弾込め



砲身手入れをする分隊員



狂巻の砲迫射撃

札幌市総合防災訓練を通じて

連隊は、9月6日(水)札幌市厚別区ふれあい広場あつべつで実施された「令和5年度札幌市総合防災訓練」に参加した。

本訓練は、石狩地方中部を震源とした直下型地震が発生し、市内全域にわたり甚大な被害が発生している状況を想定して行われ、訓練に参加した隊員はチェーンソーによる倒木の伐採、負傷者の救助・搬送などを関係機関と協力して行い、連携の強化並びに実員指揮能力及び調整能力の向上を図ることができた。また、この機会を活用し装備品展示を実施し、地域住民と触れ合うことにより自衛隊に対する信頼感を醸成することができた。



関係機関との調整



負傷者の担架搬送



装備品展示



倒木伐採

楽しく学び防災意識高まる

9月12日(火)札幌ドーム駐車場地域で開催された「東月寒童夢セーフィティブエスタ2023」に豊平区を隊区とする第2普通科中隊を基幹とする約30名をもって協力した。本イベントは地域の子供たちが防犯・防災や交通安全などを身近に感じ楽しく学べる体験型事業として毎年実施しているもので、今回で13回目の開催となった。実施内容は装備品展示、各種体験コーナー、体験試乗及び炊事車による炊き出し実演と盛りだくさんで、参加した2校の小学生約200名は、目を輝かせながら各ブースを回っていた。荒天により午後から中止となったが自衛隊の魅力を十分に発信することができ所望の成果を獲得した。



ロープ橋体験



カレーの炊き出し

音を魅了せよらっぱ教育

9月19日(金)令和5年度らっぱ手養成集合教育の修了検定を実施した。約2ヶ月の教育を受けた被教育者5名は、緊張しながらも自信のある面持ちで一人づつ檀上にあがり「気を付け」「君が代」「休め」を吹奏し、合同吹奏を実施し、みごとな音色を響かせた。教育を担当した教官の3普中 佐藤1曹は「今からがらっぱ手としてのスタート、中隊に戻っても努力を続けてほしい。」とエールを送った。



1普中 吉本土長



息の合った合同吹奏

熱くなれ拳法訓練隊



宇野士長 3普中、越智士長 本普中、中山士長 2普中、宮野士長 3普中

拳法訓練隊は11月25日(土)、26日(日)の2日間、真駒内駐屯地で開催される第20回北海道自衛隊拳法選手権大会の団体戦、個人戦に参加する。近年団体戦での上位入賞から遠ざかっていた訓練隊だがフレッシュパワーを全面に出し勝ち星を重ねてほしい。

第2普通科中隊
安藤 保 准陸尉
9月17日付

祝 御退官

第2普通科中隊
佐藤 武彦 准陸尉
9月23日付

